

周辺自治体にも
事前同意権を！

請願署名に反響

鉢伏地域ローラー署名
5割を超える世帯から
99筆の署名寄せられる

呼びかけの声を、マイクをバックに、6月15日(土)配布し、翌16日(日)回収しました。(8名参加)

話をよく聞いてくれ、気軽に署名してくれ、人が多く、地元の話を深く、頃々の内容をの深さと、署名したの共感を感じました。

☆「200名の人から署名してもらいました。もつと用紙をください」

会員のSさんの先進的な取り組みも始まっています。



地域ローラー署名行動2回目は寿地域です。都合を付けてご参加ください。

◇7月27日(土)15時

◇7月28日(日)10時

※寿集会所に集合を！

参院選

原発推進の安倍政権にノーの審判を

7月4日公示、21日投開票で参議院議員選挙が実施されます。

国の進路を大きく左右する国政選挙で、原発問題は大きな争点の一つです。「原発再稼働ストップ！再生可能エネルギーへの転換を」を実現するチャンスです。

☆違いくつきり原発政策

野党党首が5月29日に合意した参院選の「共通政策」と、自民党が6月7日発表した参院選公約とを比べてみましょう。

◆5野党・会派の「共通政策」
『福島第一原発事故の検証や、実行性のある避難計画の策定、地元合意のないままの原発再稼働を認めない。原発ゼロ実現を目指す。』

◆自民党参院選公約

『原子力規制委員会で規制基準に適合すると認められた場合には、立地自治体などの関係者の理解と協力を得つつ、原発の再稼働を進める。』

【比例代表は】 原発ゼロ実現を目指す政党、会派に！

【選挙区は】 原発ゼロ実現を目指す市民と野党の統一候補「うち越さくら」さんに！

傍聴記

6/4「第6回新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」を傍聴して

あなたに伝えたいこと

原子力発電所の事故は、地震や津波などの別の災害によって引き起こされる「始合災害」であること(避難計画にはこの視点がない)。その為に：



1、避難経路が使用できなくなる可能性がある。2、風向きによって高線量となり、時間経過と共に放射線量が増加する可能性がある。3、家屋の損傷、ライフラインの途絶で、屋内退避が全て可能ではない。4、木造家屋は自然換気による影響が大きく、マ線の低減率が僅か1割。5、気密性の高い家屋の、線低減率は4割であり、室内濃度の上昇率は遅いが、残留も長引く。

5人の専門家たちの研究結果は：原子力事故による「避難」において、私たち住民が「被ばく」を免れることはできないことを示していました。電力会社が「避難計画」を再稼働の論点からはずし関わりたくない理由がここにあるのではないかと思われまし。会場に東電社員の姿は無く、花角

【原発事故から8年4ヶ月】福島を忘れない！

☆7月11日(木)16時半～17時

☆アオーレ長岡前街頭署名にご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第90号 2019年6月30日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707